



芸術鑑賞 (漫才・落語)



6月5日(水)、宮津学舎第1体育館で芸術鑑賞を行いました。昨年度までは各学舎で実施していましたが、今年度は宮津天橋高校になって初めて両学舎合同で開催しました。今回は、吉本興業株式会社の落語家林家菊丸様、落語家桂三幸様、京都府住みます芸人木下弱様、漫才師アキナ様、漫才師藤崎マーケット様、芸人木尾モデル様をお迎えし、落語・漫才を鑑賞しました。

オープニングから、MC担当の木尾モデル様の筋肉芸で会場が盛り上がり、その勢いそのまま漫才・パフォーマンス・落語が続き、終始笑い声が絶えない鑑賞会となりました。本校教員と一緒にネタをしたり、生徒達と交流したりと、1時間30分がとても短く感じるほど楽しませていただきました。また、ネタ中のトラブルも笑いに変える芸人さんのアドリブ力の高さを肌で感じ、プロの凄さを改めて実感しました。

ワークショップの落語体験では、林家菊丸様に指導して頂き、宮津学舎からは小谷哲平さん(HR33)が小噺を体験しました。落語家の所作を真似することは想像以上に難しく、高い演技力と表現力をより知ることができました。

終演後、生徒会長白敷拓人さん(HR33)から「生で見るとお笑いは想像

以上に迫力がありました。人を笑顔にする仕事に全力で取り組まれている皆さんの姿はとても格好良かったです。たくさんの笑顔をお届けくださりありがとうございました。」と生徒を代表して感謝を伝えました。たくさんの笑いを届けていただき最高の思い出となりました。

「ネタ中にどのようなボケが来るのか想像するけど、やっぱりプロの芸人さんは私の想像とはまったく違うボケで何十倍も面白くずっと笑顔になれました。言葉でこんなにも人を笑顔にできるって素敵だと思いました。」
八木 一桜俐 (HR12)

「落語は僕の思っていたような古い感じのものではなく、今風の話ですごく分かりやすく面白かったです。アドリブ力や司会者のトーク力はさすがプロだなと思ったし、自分もできるようになりたいと思いました。」
金谷 健央 (HR23)

「有名人をあんなにも近い場所で、しかも生の漫才、落語を鑑賞できるなんて最高の体験になりました。プロの方の流暢な掛け合いや言葉遊びにお腹が痛くなるほどに笑っぱなしでした。」
谷口 琥珀 (HR33)

両丹総体 女子総合準優勝 (2年連続!) 男子総合3位 (昨年度4位)

5月18日(土)、令和6年度第76回両丹高等学校総合体育大会がありました。中丹・丹後地域の各地で競技が行われ、宮津天橋高校宮津学舎は男子バスケットボール競技の会場でした。宮津天橋高校は、女子は総合準優勝、男子は総合3位に輝きました。女子の総合準優勝は昨年度に引き続き2年連続です。また、男子総合3位は昨年度4位を超える成績です。地域の方々や保護者の方々などの声援が力となり、全力を出し切ることができました。これからも加悦谷学舎と団結力を高め、日々の練習に励んでいきます。以下、各競技の成績です。(3位以上の成績を収めた競技のみ)

- 【陸上競技】 男子 上級の部 優勝 下級の部 優勝
- 女子 上級の部 優勝 下級の部 優勝
- 【バレーボール】 男子 上級の部 3位
- 女子 下級の部 準優勝

- 【バスケットボール】 女子 上級の部 準優勝 下級の部 3位
 - 【ソフトテニス】 女子 下級の部 準優勝
 - 【卓球】 女子 上級の部 3位
- ※ 上級の部：全学年出場可能 下級の部：1・2年生のみ



総合的な探究の時間「Safari」

「総合的な探究の時間」が今年も本格的に始動しています。宮津天橋高校宮津学舎では、総合的な探究の時間を Safari と呼んでいます。その名称はスワヒリ語で「航海」を意味し、自分だけの「答え」を探す冒険の旅に出てほしいという思いが込められています。1年生は週に1時間、2年生は週に2時間、それぞれ探究活動を行っています。

1年生は、これまで過ごしてきた地域の課題をグループや個人で深掘りします。その中で、自分自身の興味・関心を見つめたり、他者と交流したりすることで、自己のキャリアと未来の地域のあり方を模索します。

2年生は、自分の興味のあるテーマを設定し、1年を通して深めていきます。2時間連続の授業を有効活用し、学校の外へ調査に出かけたり、学術関係者や地域の事業者と連携を取ったりしながら、社会と密接につながった活動をしています。

【2年生の今年度のテーマの一部】

- 古典をイマドキの言葉に（人文ゼミ）
- 米完全再現具味！！（TANGology ゼミ）
- 人が騙される条件とその心理（行動科学ゼミ）
- おやつで好き嫌いをなくす（スポーツ健康ゼミ）
- 音（声）で火は消せるのか（物理ゼミ）



国際交流（デレレイビーチ市から留学生が来ました!）

6月10日（月）、11日（火）の2日間に渡り、アメリカのフロリダ州デレレイビーチ市から5名の学生が本学舎を訪れました。宮津市はデレレイビーチ市と姉妹都市の関係にあり、その交流事業の一環として交換留学やホームステイを受け入れています。ホームステイを受け入れた本学舎の生徒達がそれぞれ、学校生活の中で留学生とバディを組み、様々な教育活動で行動を共にしました。

授業体験では、国語や数学、生物など宮津学舎の授業を実際に受けていただきました。建築科の授業では、日本とアメリカの住宅の違いをペアで考えたり、英語の授業では、互いに自己紹介をし合ったりなど、多くの交流を図りました。

生徒達は、身振り手振りを加えながら英語で一生懸命コミュニケーションをとり、普段の学校生活ではなかなかできない貴重な異文化交流ができました。

「最初は話をしようとしても思うように話せず、もっと英語の勉強をしとけば良かったと感じました。しかし、私の伝えたいことが伝わったときは本当に嬉しくて改めて英語でやりとりする楽しさに気付きました。一歩踏み出してホームステイの受け入れをして本当に良かったです。」

川田 愛来 (HR22)



教育実習

2名の卒業生が教育実習生として母校に帰ってきました。校名は宮津高校から宮津天橋高校に変わりましたが、在籍当時と変わらない校舎の姿に懐かしさを感じていました。授業をはじめ、朝の立番やホームルーム、部活動など様々な場面で本学舎の生徒と関わりました。教育実習で学んだことを次のステージで活かし、教員として宮津天橋高校に帰ってきてくれる日を楽しみにしています。



「3週間ありがとうございました。実習中は自身の学生時代も重ね合わせながら、生徒の皆さんに短い期間の中で何を伝えられるだろうと不安がありましたが、皆さんの優しさや元気にとても助けられました。学生生活を思い切り楽しんでください。応援しています。」

寺田 若保（教育実習生）

「『3週間が短い』、そう感じた教育実習でした。学生の頃とは違い、教員の目線で見ると宮津天橋高校は、毎日が新鮮ですぐに時間が過ぎました。生徒達から元気をもらい、毎日が楽しい3週間となりました。ありがとうございました。」

山崎 伸吾（教育実習生）

生徒会レポート

2ヶ所目は、「学生食堂」です。全国の公立高校で学食が減ってきているなか、宮津学舎では平日毎日学食がオープンしています。ラーメンやカレーといった王道メニューから「卵混ぜ麺」や「シーザーからあげ丼」など宮津学舎独自の期間限定メニュー、さらには弁当の足しになるような一品やデザートまで幅広いメニューが取り揃えられており、学食の券売機には連日多くの生徒が長蛇の列を作ります。安くてハイクオリティなランチを楽しめるこの学食は、やはり宮津学舎の大きな魅力の一つだと思います。これからもずっと続いてほしいと心から思います。



第2号に続き宮津学舎のおすすめスポットを紹介するよ!

おすすめのメニューは「半チャンセット」ぜひ食べに来てね!

次号は「宮津学舎のここが良い!」というテーマでお送りします。宮津学舎が気になった方は、ぜひ体験セミナーやオープンスクールに参加してください!

各部活動の活躍

☆陸上競技部

第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
近畿地区予選会 ※以下、近畿大会出場

男子走高跳 3位 井本 蒼一朗 (HR33)

※全国インターハイ出場権獲得

男子110mH 出場 松下 歩叶 (HR33)

男子砲丸投 出場 藤原 翼 (HR33)

女子棒高跳 出場 木村 心花 (HR13)

女子やり投げ 出場 蘆田 レナ (HR21)

☆ボート部

令和6年度国民スポーツ大会ローイング競技

京都府選手選考会 ※以下、近畿大会出場権獲得

少年女子1X 3位 倉 優羽 (HR22)

☆ヨット部

令和6年度国民スポーツ大会セーリング競技

京都府選手選考会 ※以下、国スポ出場権獲得

少年男子420級 優勝 小谷宗一郎 (HR23)

柴田逸希 (HR23)

第35回近畿高等学校ヨット選手権大会

※以下、全国インターハイ出場権獲得

男子420級 5位 中本 春樹 (HR32)

森垣 祥太 (HR33)

男子ILCA6級 4位 山口 誠史 (HR31)

☆書道部

第48回全国高等学校総合文化祭岐阜大会

※以下、全国大会出品予定

書道部門 出品 谷口 心彩 (HR32)

書道部門 出品 安田 美結 (HR32)

書道部門 出品 上岡 舞 (HR22)